

主体的に学ぶ子どもの育成 ～学級活動(1)における合意形成のための指導の在り方～

岩手県洋野町立種市小学校 教諭 今野 駿大

1 はじめに

本校は、平成19～26年に近隣4校が統合してできた学校で、現在児童数197名、普通学級7、特別支援学級4の学校規模である。地域の特色を生かした「海洋教育」の他、今年度は町指定国語科「書くこと」を主題とした学校公開研究会も開催した。

特別活動では、久慈地区小学校特別活動研究会の事務局として、平成29年に県小学校教育研究会特別活動部会の学校公開を行っており、提案授業や実践発表にも取り組んできた。学級活動のみならず、児童会活動や学校行事で実践的な態度を育てるために各学年で実践を行っている。

2 実践の概要

(1) 4年「学級目標を決めて、点数UPを目指そう」

事前アンケート「4年2組は100点中何点ですか」を行ったところ、22人の平均が、55.5点だった。点数の理由に関しては、「仲がいい、平和」など前向きな意見もあったが課題も多くあった。特に多かったのが、「言葉づかいがよくないこと」と、「時間を守れていないこと」だった。自分たちが感じている良さを継続していきながら、課題を解決するためにこの題材を設定した。

話し合いに向けて計画リーダーとの打ち合わせを入念に行い、児童主体の話し合い活動を行うことができた。そのため、自分事として話し合いに参加できる児童が多かった。話し合いの中では「合意形成のプロセスの例示」を使って、別案を考えたり案を練り直したりする姿が見られたので、合意形成に役立った。話し合い以外でも、「譲る」や「意見を合わせる」ことで合意形成を図る姿が見られた。

児童には、ワークシートを用意して全員参加を図ったが、中には「何でもいい」と他人事として考えたり、自分の意見を譲らなかつたりする児童も見られた。今後、他の改善策を考えていきたい。

話し合い後の実践では、キラキラした言葉を使うことを意識して相手の気持ちに寄り添った生活を送ることができ、2学期末は「64.3点」、3学期末は「69.4点」と点数をアップすることができた。



その他の工夫

【座席の工夫】

全員で円になり、お互いの顔が見えるようにした。



【話し合いのルールを明確化】

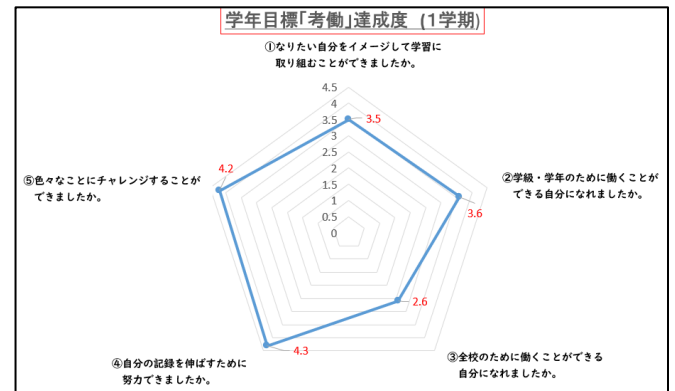
「発言は①手をあげて②みんなに伝わる声で③最後までする」など、安心して話し合えるようにルールを決めた。

(2) 5年「全校のためにできることを考えて取り組もう」

学年目標をもとにアンケートを行い、「全校のためにすすんで働くこと」が課題であると気づき、全校をよりよくするための取り組みを話し合っ、実践することができた。草取り活動では、1回目の反省をいかして草を取る場所や人数を改善して、声をかけ合いながらさらに多くの草を取ることもできた。実践後の振り返りでは、全校のために活動できたことの達成感や、これからの生活にいかしていきたいことを書いている児童が多かった。

このことから、自分たちで課題を見出し、自分たちが考えた取り組みが実現することが、さらによりよい考えや活動にしたいという思いを引き出し、主体的な学級活動になると分かった。

一方で「こうしたい」という思いを持つ児童が多くなったために、合意形成が図りにくくなってしまった場面もあった。話し合う視点を明確にしたり、話し合いの流れを固定化したりと手立てを講じたが、意見がたくさん出た時に整理しきれないことや、自分の意見を通したい時に、話し合う視点が逸れることがあった。そのため、話し合いの時間を細かく決めることや、話し合う視点をしぼり、意見を考えることなどを手立てとしていきたい。



【学年目標をもとにしたアンケート】



【草取り活動 1 回目】



【草取り活動 2 回目】

全校のために役立つことを考えるのが意外と難しかったけど、来年6年生になるために頑張った。草取りは1回目の活動を改善して、2回目は3倍くらいの草を取ることができてよかった。また草取り以外にも全校のためにできることをしたい。

【児童の振り返りより】



【草取り活動の様子】

3 おわりに

(1) 成果

子どもたちの主体的な活動を目指すためには、教師の綿密な手立てが必要であり、児童自身が自分事として、自分や学級の課題を解決しようと考えられることが重要である。このことが、主体的に話し合いに参加しようとする態度や活動への意欲にもつながることが分かった。そして、今回取り組んだ「合意形成」は特別活動だけでなく、児童が生きていく上で様々な場面で必要なことだと感じた。今回の学級活動(1)で学習した合意形成の仕方を普段の生活でもいかしていけるように、様々な場面で意識して指導にあたりたい。

(2) 課題

今回の実践ではいずれも、話し合いの予定時間を大幅に超過してしまった。意見が多く出ることは良いことであるが、話し合う視点から外れた議論になることがあった。今後は、話し合いを整理する方法や、要点を捉えた話し合いをする手立てについて、有効な方法を学び、実践していきたい。